

ちた市議会

だより

Vol. 196
2025 年
5 月号



「満開の桜」（ベティさんの家旭公園）撮影：坂井由紀美さん

今号の
トピックス

- ・令和7年度の予算審査を実施・・・4～5ページ
- ・議会だよりの表紙写真等を募集・・・11ページ
- ・広報広聴委員会が先進地を視察・・・12ページ

市議会公式SNS



Instagram



Facebook

1月議会

第1回臨時会

第1回市議会臨時会を1月29日午後1時から1日間の会期で開き、令和6年度知多市一般会計補正予算（第7号）の1議案を可決し、報告2件を受理しました。

議案審議結果

会 派 名			創 政 会						市民クラブ				議 公 員 明 団 党		松 風 会		共 産 党		新 緑 知 多		本 会 議 議 決 結 果
氏 名			高橋 至	竹内 祥浩	高橋 直之	安島 崇展	伊藤 正明	石濱 隼人	伊藤 清一郎	渡邊 眞弓	中山 貴弘	藤沢 巖	林 正則	藤井 貴範	小浦 智夫	泉 清秀	服部 洋志	富田 一太郎	久野 たき	川脇 裕之	
件 名																					
議案Ⅰ 令和6年度知多市一般会計補正予算（第7号）			全 員 賛 成																		可 決
報告Ⅰ 市長専決処分事項の報告について（救急搬送業務における事故の損害賠償の額の決定及び和解）																					受 理
報告Ⅱ 市長専決処分事項の報告について（施設管理瑕疵による事故の損害賠償の額の決定及び和解）																					受 理

※議案の概要は、知多市ホームページ内の市議会のページに掲載しています。

※伊藤清一郎議員は議長のため賛否を表していません。

※採決自体をしていない案件（報告など）については、賛否の欄に斜線を表示しています。

※会派名の共産党は日本共産党議員団の略

3月議会

第2回定例会

第2回市議会定例会を2月26日から3月25日までの28日間を会期として開きました。

令和7年度知多市一般会計予算をはじめ30議案を可決、議員派遣を議決して閉会しました。

議案審議結果

会 派 名	創 政 会								市民クラブ				議公明 員明党 団党		松 風 会		共 産 党		新 緑 知 多		本会議 議決結果
氏 名 件 名	高橋至	竹内祥浩	高橋直之	安島崇展	伊藤正明	石濱隼人	伊藤清一郎	渡邊眞弓	中山貴弘	藤沢巖	林正則	藤井貴範	小浦智夫	泉清秀	服部洋志	富田一太郎	久野たき	川脇裕之			
議案2 知多市中小企業・小規模企業振興基本条例の制定について	全員賛成																			可決	
議案3 知多市事務分掌条例の一部改正について																				可決	
議案4 知多市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び知多市個人情報保護審査会条例の一部改正について																				可決	
議案5 知多市国土利用計画審議会条例の一部改正について																				可決	
議案6 知多市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について																				可決	
議案7 知多市職員の分限の手続及び効果に関する条例の一部改正について																				可決	
議案8 知多市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について																				可決	
議案9 知多市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について																				可決	
議案10 知多市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決		
議案11 知多市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決		

会 派 名	創 政 会							市民クラブ				議 公 員 明 団 党	松 風 会	共 産 党	新 緑 知 多				
氏 名 件 名	高橋至	竹内祥浩	高橋直之	安島崇展	伊藤正明	石濱隼人	伊藤清一郎	渡邊眞弓	中山貴弘	藤沢巖	林正則	藤井貴範	小浦智夫	泉清秀	服部洋志	富田一太郎	久野たき	川脇裕之	本会議 議決結果
議案12 知多市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	全員賛成																		可決
議案13 知多市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	全員賛成																		可決
議案14 新庁舎建設工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
議案15 名古屋港港湾区域内の公有水面埋立について	全員賛成																		可決
議案16 知多市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案17 知多市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	全員賛成																		可決
議案18 知多市道路占用料条例の一部改正について	全員賛成																		可決
議案19 知多市公共用物の管理に関する条例の一部改正について	全員賛成																		可決
議案20 市道路線の廃止について	全員賛成																		可決
議案21 市道路線の認定について	全員賛成																		可決
議案22 令和6年度知多市一般会計補正予算（第8号）	全員賛成																		可決
議案23 令和6年度知多市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	全員賛成																		可決
議案24 令和6年度知多市下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案25 令和7年度知多市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
議案26 令和7年度知多市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案27 令和7年度知多市後期高齢者医療事業特別会計予算	全員賛成																		可決
議案28 令和7年度知多市水道事業会計予算	全員賛成																		可決
議案29 令和7年度知多市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案30 損害賠償の額の決定及び和解について	全員賛成																		可決
議案31 知多市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	全員賛成																		可決
議員派遣について	全員賛成																		可決

※議案の概要は、知多市ホームページ内の市議会のページに掲載しています。

○：賛成

×：反対

※伊藤清一郎議員は議長のため賛否を表していません。

※会派名の共産党は日本共産党議員団の略

本会議の会議録・録画映像がご覧になれます



会議録



録画映像

陳 情 紹 介

▼知多市の観光行政に関する要望書

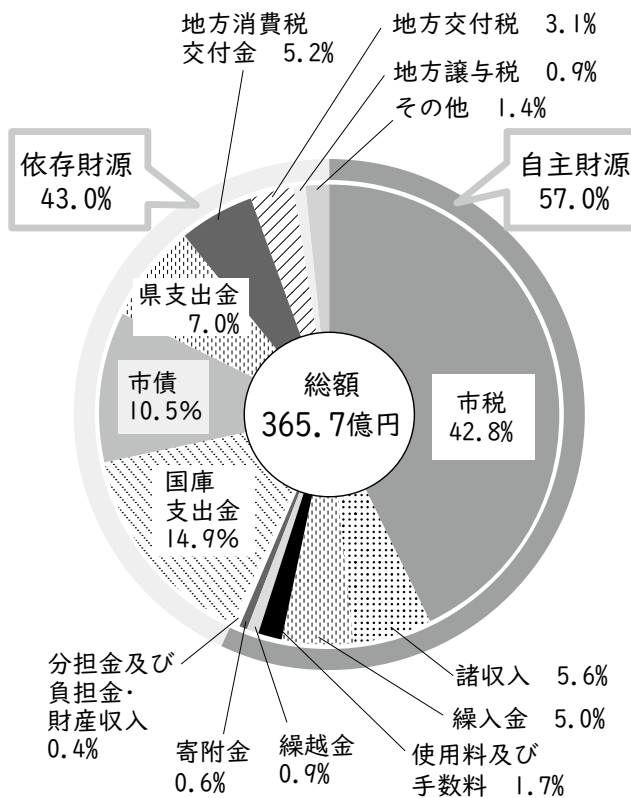
・提出者 一般社団法人知多市観光協会
会長 酒井 清さん

▼知多市福祉サービス事業所等物価高騰対策支援及び感染症対策助成についての陳情

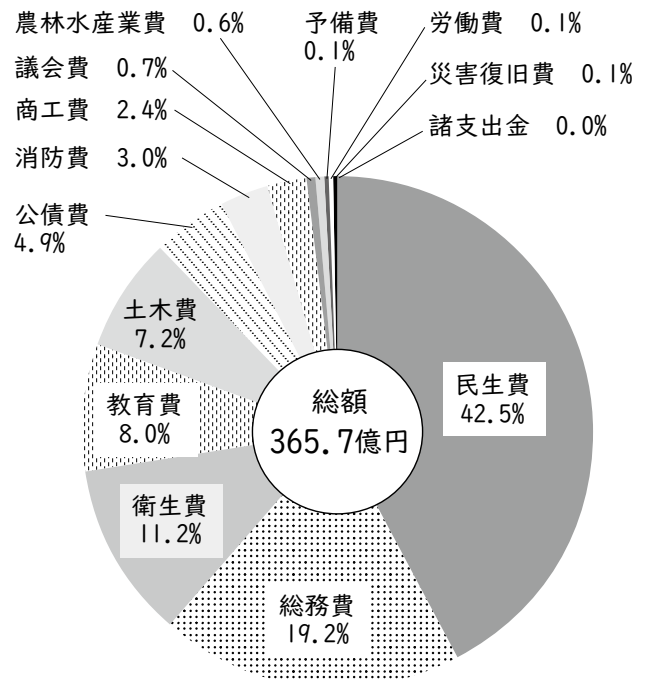
・提出者 知多市ホームヘルパー連絡協議会会長 合同会社たいよう 訪問介護事業所おてんとさま 代表社員 奥地邦博さん

一般会計当初予算

歳入



歳出



議案の審議及び審査状況

総務委員会

委員長 石濱隼人 副委員長 安島崇展
委員 小浦智夫 川脇裕之 林 正則
渡邊眞弓

議案第14号関係

新庁舎建設工事の契約書
市と委託業者で確認を行う

問 新庁舎建設工事請負契約の契約書のチェックはどのように行うのか伺いたい。

答 新庁舎建設室に加えて、コンストラクション・マネジメント委託業者においても確認をします。

議案第25号関係

防犯灯LED化の取替え経費
3万円を限度に全額を補助

問 防犯灯LED化促進事業補助金の内容について伺いたい。

答 防犯灯の更新については、これまでも補助率90%、2万3000円を限度に補助していますが、これとは別に、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、取替え経費の全額を3万円を限度に補助する制度を新たに設けます。LED化のさらなる促進を通じて、地域の防犯力向上につながるものです。

議案第25号関係

運行面の改善に向け
あいあいバス時刻表を改正予定

問 地域交通事業費のうち備品修繕料の内容及び前年度比増の理由について伺いたい。

答 コミュニティ交通あいあいバスの

バス停標識の破損や時刻表の更新などに対応するものです。令和7年度は、北部循環コース系統に電気自動車を導入するほか、他のコースにおいても運行面の改善に向け時刻表の改正を予定しており、増額計上しています。

議案第25号関係

なり手不足の国勢調査員
確保支援業務を委託

問 国勢調査の調査員確保の方法について伺いたい。

答 国勢調査は、国の最も重要な調査として位置付けられ、本市においても約300人の調査員の確保が必要となります。現在、調査員の公募を進めており、広報した、ホームページ、SNSや地区回覧など、様々な媒体により周知に努めています。また、年々調査員のなり手が不足する状況にあるため、今回の調査では、事業者には確保支援業務を委託し、調査員の確保に努めます。なお、調査員が不足する場合は、市職員から確保します。



議案の審議及び審査状況

福祉文教委員会

委員長 中山貴弘 副委員長 泉 清秀
委員 竹内祥浩 高橋直之 伊藤清一郎
富田一太郎

議案第22号関係

教育文化振興基金
残高見込みは約7330万円

問 教育文化振興基金の内容及び残高並びに今回受けた寄附金の主な使途について伺いたい。

答 この基金は、主に文化財保護事業費、歴史民俗博物館運営費及びキャリアデザイン推進事業にかかる費用に活用するもので、令和6年度末の残高見込みは、7330万3307円です。今回、受けた寄附金については、主に少女発明クラブで使用する備品購入に充てます。



少女少女発明クラブの様子

議案第25号関係 使用料及び手数料

放課後児童クラブ利用者
前年度比146人増を見込む

問 放課後児童クラブ育成料の増加の要因について伺いたい。

答 令和6年度の実績及び7年度の利用申込み状況から、通年利用及び夏季休業期間限定の利用を合わせ、6

年度に比べ146人の増加を見込んでいます。

議案第25号関係 民生費

知多半島で縁むすびイベント
7・8年度に各市町で開催予定

問 知多半島で縁むすびプロジェクト負担金の具体的な内容について伺いたい。

答 知多地域5市5町で構成する実行委員会を組織し、地域資源を活用した縁むすびイベントを開催するプロジェクトです。令和7年度及び8年度の2年間に各市町1回、計10回の開催を予定しています。参加対象者は25歳から39歳までの独身男女各20人を基準とし、開催地ごとに詳細を決定する予定です。

議案第25号関係 衛生費

がん患者ウィッグなどの購入費
2万円を上限に半額を交付

問 がん患者ウィッグ等購入費交付金の内容及び見込み件数について伺いたい。

答 がん治療に起因する脱毛に対する医療用ウィッグまたは外科的治療などによる乳房の変形に対する補整具を購入する方に対し、購入費の半額を交付するもので、2万円を上限としています。ウィッグは35人分、乳房補整具は10人分を見込んでいます。

建設経済委員会

委員長 藤井貴範 副委員長 高橋 至
委員 服部洋志 伊藤正明 藤沢 巖
久野たき

議案第24号関係

下水道事業の官民連携によって
より効率的な運営を目指す

問 ウォーターPPP導入の目的及び委託料の内容について伺いたい。

答 本市の下水道事業における、人的・技術的な不足の補完、事務の負担軽減、災害時における対応力の強化などを目指して、長期契約で施設の管理、更新を一体的にマネジメントする「ウォーターPPP」の導入を検討するものです。内容としては、ウォーターPPPの導入に当たり、本市の下水道の現状分析や事業化に向けた課題の抽出などの事前検討を行うものです。

議案第25号関係 諸収入

プレミアム付の電子商品券
8万5000口分販売

問 プレミアム付商品券売却代金について伺いたい。

答 プレミアム付商品券事業で発行する5000円分の電子商品券を一口4000円で、8万5000口販売するものです。



議案第25号関係 衛生費

商用燃料電池自動車購入に対し
新たに補助金を創設

問 商用燃料電池自動車購入費補助金の内容について伺いたい。

答 環境性能に優れた燃料電池自動車を購入する市内の企業などに対し、その費用の一部を補助するもので、補助対象となる車両は、バスやトラックなどの大型車と普通車です。補助金額は、大型車が100万円、普通車が20万円で、購入だけでなくリースによる導入も補助対象になります。

議案第28号関係

基幹排水管の耐震化率
7年度工事後で約24%

問 基幹排水管耐震工事の詳細な内容及び工事後の基幹排水管の耐震化率について伺いたい。

答 工事の場所は、市道北浜金沢線のリクシル前交差点から西知多クリーンセンター南側の丁字路までの区間で、口径200mmのダクタイル鋳鉄管を1350m布設します。

また、この工事終了後の基幹配水管の耐震化率は、概算で24・4%となる予定です。



創政会 会長

石濱 隼人



多機能を備えた施設を目指し
新庁舎建設工事がスタート

問 新庁舎建設及び今後の活用について伺いたい。

答 令和7年4月から新庁舎の建設工事がスタートします。

新しい市役所は、行政ニーズの变化やデジタル化の進展などに対応可能なオフィスに加え、大規模地震にも備えた防災・災害対応の拠点として整備します。

また、にぎわいを新たに誘発する市民交流スペースやイベントが開催可能な広場など、様々な機能を持たせ、今後の活用に柔軟な対応ができる施設として計画しています。



新庁舎の完成イメージ

市内初の公立認定こども園
開園に向けて環境を整備

問 梅が丘こども園の在り方について伺いたい。

答 令和7年4月の開園に向けて、新たに未満児室、厨房棟を設けました。今までの幼稚園機能に保育所機能を加え、定員を合計97人とし、さらに個々の発達段階にあった特別支援クラスを設けます。

子どもたちの心身の健やかな成長と発達を得られるよう運営していきます。

市民ニーズの変化を把握し
屋内型あそび広場の誘致を検討

問 朝倉駅周辺整備事業（北街区）の展望について伺いたい。

答 ニーズの変化をチャンスと捉え、子育て世帯に選ばれるまちを目指すとともに、人が集い交流する空間を創出するため、「屋内型あそび広場」の誘致を念頭に検討を進めます。

また、中央図書館については、全館移転する方針で検討を進めてきましたが、既存公共施設の移転という発想ではなく、図書と交流をテーマとした施設の整備を検討していきます。



市民クラブ 会長

藤沢 巖



地域防犯力の向上を目指し
毎年5台ずつ防犯カメラを設置

問 防犯カメラによる地域防犯対策について伺いたい。

答 本市では、犯罪抑止と地域防犯力の向上を目的として、家庭用防犯カメラの設置に対する補助制度を設け、地域の防犯対策に取り組んでいます。制度を開始した平成30年度からの申請の累計は195件となり、令和7年度も引き続き、補助を継続します。

また、6年度から5年間、知多警察署と協議の上、防犯効果が高い箇所、さらなる地域の防犯力向上につなげます。

中学生の受入団体増加に向け
研修会や情報交換を実施

問 中学校部活動の地域移行・地域連携に向けた支援について伺いたい。

答 令和7年度は、ジュニアスポーツ団体の活動費の補助額の上限を引き上げるとともに、登録人数の区分を細分化し、団体の継続性の確保と活性化を図ります。また、地域クラブの指導者などを対象に熱中症対策やハラスメント防止に関する研修会を実施したり、受入れ団体や受入れを検討している団体の代表者などの情報交換の場を設けたりするなど、中

学生の受入れ団体の増加に努めます。
持続可能な地域活動に向け
コミュニティ連絡協議会と協働

問 持続可能な地域活動への支援について伺いたい。

答 地域担当職員や地域カルテなどを活用し、時代に合った活動を支援しています。令和7年度は、コミュニティ連絡協議会と協働し、自治会などの活動内容や日頃のつながりの大切さを伝えるチラシを全戸配布し、自治会への加入を呼びかけ、持続可能な地域活動に向けて支援します。

定期的な点検を行い
下水道管の安全確保に努める

問 下水道管の安全確保について伺いたい。

答 知多市下水道ストックマネジメント計画に基づき、硫化水素の発生率が高い腐食環境下の管は5年に1度、緊急輸送路線下などの重要路線は10年に1度、カメラ調査を行っています。これまでの調査結果から、陥没につながる異常は発見されていませんが、ひび割れ等の劣化箇所があるため、令和7年度から詳細設計を行い改築を実施します。本市の下水道管のうち約27kmが耐用年数の50年を経過しており、今後も定期的な点検を行います。

代表質問



公明党議員団 代表 小浦 智夫



日本語初期指導教室などを開き
外国人児童生徒を支援

問 外国にルーツを持つ子供に対する支援について伺いたい。

答 小中学校での授業で必要な日本語を十分に習得していない外国人児童生徒を対象とした日本語初期指導教室を開いているほか、小学校入学前の児童に対しては学校生活への適応指導を行っています。

令和7年度は小中学生の放課後における学習サポートも拡充します。今後も日本語が不慣れな外国人の方々も安心して生活ができる地域社会の実現を目指していきます。

新たな合葬式墓地を整備し、
令和8年度に完成予定

問 新たな合葬式墓地の整備について伺いたい。

答 合葬式墓地は、墓の後継者がいない、今後の管理に不安があるといった利用者のニーズに沿った墓地の形態であり、少子高齢化や核家族化が進むことから、今後も需要が継続すると考えています。

このため、知多墓園内の未整備用地に新たな合葬式墓地を整備する計画とし、令和7年度に規模、詳細な形態、形状など整備の方向性を検討し、8年度の完成を予定しています。

带状疱疹ワクチンの定期接種
費用の約7割を市が負担予定

問 带状疱疹ワクチンの定期接種化について伺いたい。

答 今回の定期接種の対象者は65歳の方及び60歳以上65歳未満のヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がいをする方です。

令和7年度に限り100歳以上の方全員が対象者です。

接種費用については、接種回数が1回の生ワクチン及び接種回数が2回の不活化ワクチン、どちらも費用の約7割を市が負担する予定です。

SSWを増員し
5中学校区に各1人配置

問 特別な支援を必要とする児童生徒への対応について伺いたい。

答 近年、様々な面で支援を要する児童生徒が増加しています。その支援する内容も複雑化、多様化するとともに、福祉的支援が必要となる事実も増加しています。

そのため、令和7年度からスクールソーシャルワーカー（SSW）を5中学校区へ各1人配置となるよう増員し、小中学校と連携して早期発見、早期介入に努め、課題が困難化重大化していかないように支援していきます。



松風会 会長

服部 洋志



知多翔洋高校を避難所に指定し
避難所生活スペース拡大を図る

問 大規模災害における避難所の生活環境対策について伺いたい。

答 段ボールベッド及び間仕切り用テントを防災倉庫などに配備するとともに、民間事業者との協定により段ボールベッドなどの確保に努めています。また、新たに知多翔洋高等学校を避難所に指定し避難所生活スペースの拡大を図るなど、今後も引き続き避難所の生活環境対策を進めていきます。

高齢者のフレイル予防のため
オーラルフレイルも対象に

問 高齢者のフレイル予防のための取組について伺いたい。

答 本市では、高齢者の自立支援、介護予防、重度化防止に向けた取組の中で、高齢者一人ひとりに対しフレイルなどの心身の多様な課題に対応した事業を実施しています。取組としては、出前講座や健康教育、個別保健指導などを実施しています。令和7年度からは口腔機能の低下が見られる方、いわゆるオーラルフレイルに対しても訪問や面談などによる保健指導や医療機関への受診勧奨を新たに実施し、きめ細かな対応に努めます。



防災訓練時の避難所設営の様子

学校給食の食料費高騰
7年度は上昇分を公費で負担

問 学校給食における食料費高騰への対応について伺いたい。

答 近年、食料価格の高騰が長期化しており、学校給食の質と量を確保するため、令和6年度に給食費を改定しましたが、子育て世帯への支援として同年度の改定増額分を公費で負担しました。しかしながら、多くの食料費が大幅に上昇する中、改定後の給食費では栄養基準を満たした安全で安心な給食の提供を継続することが困難なことから、7年度は物価高騰による食料費上昇分を公費で負担することとします。



公明党議員団
泉 清 秀



福祉施設13か所と協定を結び
配慮が必要な方の受入先を確保

問 避難行動要支援者への支援体制について伺いたい。
自ら避難することが困難な高齢者や障がいのある
方などの避難行動要支援者に対し、災害が起きた際
に適切な避難支援ができるよう、要支援者や避難を
支援する人の情報を記載した個別避難計画を作成し
ています。

地域防災訓練では、個別避難計画を作成した本人
と支援者が避難経路を実際に歩き、計画の実効性
について検証を行いました。訓練を通じて、障がいの
ある方と住民が直接話し合う機会となり、どうすれ
ばみんなが助かるかという防災意識が高まるように、
地域ぐるみで支援体制の構築を図っています。

避難先で、障がいのある方が安心して生活するた
めの取組として、
避難所の生活にお
いて特別な配慮が
必要な方の受け入
れ先となる福祉施
設と協定を結んで
います。

現在の協定先は、
市内13か所で、特
別養護老人ホーム
や障がい福祉サー
ビス事業所などを
福祉避難所として
登録しています。



福祉避難所の一つ
(障がい福祉サービス事業所・なごみ苑)



市民クラブ
中山 貴 弘



日長地区の産業用地開発事業
県と調整し計画の準備を進める

問 企業誘致施策における現状の取組及び新たな産業
用地の開発について伺いたい。

一定規模以上の設備投資を伴う企業進出に対して
は、操業初期の費用負担を軽減できる工場等新設奨
励金を交付しています。また、企業へのPRとして
は、県が主催する愛知県産業立地セミナー（東京
への出張に加え、知多市産業立地セミナーを自主開
催するなど、様々な機会を捉えて広く企業誘致に取
り組むとともに、企業の設備投資の動向について、
情報収集に努めています。

新たな産業用地の開発については、現在、知多新
南土地地区画整理事業で5区画、約5・2haの工業用
地売却に向けて準備が進められています。また、知
多市都市計画マスタープランでは、現在建設中の西
知多道路に設置される予定の日長インターチェンジ
（仮称）周辺を産業地候補エリアとして位置付け、
西知多道路開通後の土地利用の方向性について、検
討を進めています。ただ、同エリアについては、名
古屋三河道路のルート帯の選定を受け、愛知県とも
調整を行った上で、次期工業用地開発事業を一旦見
送ることを決定しました。現時点では、道路の線形
が確定する都市計画決定の時期が不透明であり今後
の見通しを示せません。しかしながら、高速道路が
結節する広域アクセス性の高い産業用地として有効
活用できるよう、愛知県とも調整を継続して新たな
計画の準備を進めます。



市民クラブ
藤井 貴 範



消防の各種式典や大会は
それぞれの目的に沿って開催

問 消防行事の目的について伺いたい。
消防の各種式典や大会などは、それぞれの目的に
沿って開催しています。

消防出初式は、市内の消防関係機関が一堂に会し、
1年の初めに無火災、無災害を祈念して、消防関係
者の士気を高め、市民に火災予防を呼びかけること
が目的です。

消防団観閲式は、消防団員が一堂に集まり、訓練
の成果を披露して、消防団員の士気の高揚を図り、
市民の信頼と認知を深めることが目的です。

消防操法大会は、消防団員として消火技術の習得
のために行うものです。各分団でその技術を競い、
高め合うことが目的です。

問 令和7年度に消防団第5分団の消防ポンプ自動車
を軽自動車に更新するが、今後の消防操法大会の在
り方について伺いたい。

答 7年度の市操法大
会の開催は決定し、
県操法大会へも参加
することとしました。
8年度以降は、消防
ポンプ自動車を小型
動力ポンプ積載車に
更新していくことか
ら、操法大会の実施
方法などについて今
後検討していきます。



昨年の消防操法大会の様子



日本共産党議員団
久野 たき



利用者の代表に委員を委嘱
構成員を変更する考えはない

問 地域公共交通計画に幅広い利用者の声を反映できるように、地域公共交通会議の委員に高齢者や若者を加える考えについて伺いたい。

答 地域公共交通計画を策定するに当たり、令和6年3月から地域公共交通会議を地域交通法に基づく法定協議会の機能も併せ持つ協議会へと移行させました。構成員は23人で、地域住民または利用者の代表をはじめ、市、県、運輸支局、交通事業者、警察、道路管理者、学識経験者など、多様な関係者で構成し、議論を進められるようにしています。

その一部として、5つのコミュニティから委員を委嘱し、市民や利用者の目線からの意見をいただいております。現在のところ、構成員を変更する考えはありません。



地域公共交通あいあいバスの車両



創政会
高橋 至



CSWが支援ニーズを把握し
共に支え合う地域づくりへ

問 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）について伺いたい。

答 令和6年度から、CSWを社会福祉協議会に委託し、各中学校区に配置しています。積極的に地域へ出向き、暮らしの困り事や地域の課題に寄り添い、様々な制度や市民活動につなげています。

今後、地域の支援ニーズを把握し、共に支え合う地域づくりを推進します。また、個別支援が必要なケースについては、福祉分野にとどまらない関係機関と連携して伴走支援をしています。

問 CSWの市民への周知について伺いたい。

答 CSWの活動などを紹介する「ふくまる通信」の発行やSNSなどで情報を発信するとともに、地域での活動報告を行うことにより周知を図っています。

問 これまでの具体的な取組について伺いたい。

地域の特性に応じた取組事例を紹介します。

- ・地域住民が認知症の人やその家族とともに、地域の方にカレライスを提供する「カレールシェオレンジ」を開催し、認知症になっても活動できる場をつくる支援。
- ・要支援者が、自宅から避難所へ地域の方と移動する「ひなんさんぽ」で地域の関係づくり。
- ・子ども食堂の場で、戦没者の遺族会による「平和に関する読み聞かせ」を開催し、そこにひきこもりの方が地域参加できるよう三者をつなぐ。



新緑知多
川脇 裕之



市道つつじが丘にしの台線
現状状況等を踏まえ対応を検討

問 市道つつじが丘にしの台線の交通安全対策の事例及び提出された地区要望書の内容について伺いたい。

答 知多警察署と協議し、工事で区画線を復旧する際に、車両の速度抑制を促すため、視覚的に車道の先が狭く見え、また交差点が強調されるように、外側線の位置や幅を変更しました。特に朝夕の時間帯で、本路線を通過する車両が増加しており、かつ、かなりの速度が出ていることから、事故防止のため、路線全体での車両の速度抑制対策を要望する要望書が提出されています。今後、内容を確認しつつ、現状状況なども踏まえ、知多警察署と協議しながら対応を検討します。



市道つつじが丘にしの台線



創政会
竹内 祥浩



土地改良区の施設を継続支援し
維持管理の安定化につなげる

土地改良区への支援の現状及び今後の取組について伺いたい。

問 知多市土地改良区は、県営土地改良事業により整備された農業水利施設の維持管理を行っています。加えて、農業用のため池や用水路を適切に維持管理することにより、多面的機能を担う場として、農業生産だけでなく、土地改良区内の環境保全にも大きく寄与しています。

本市の土地改良区は、八幡、岡田、大興寺、佐布里地区のは場整備内農地所有者の自主運営組織です。令和6年度の支援として、笠松池など9か所の揚水機場の修繕改修工事のほか、側溝、排水路などの施設の維持管理・修繕に要した経費の一部を補助しています。

また、7年度は岡田東部揚水機場の操作盤更新工事や牛落池揚水機場のポンプオーバーホール工事のほか、引き続き6年度と同様の補助を行っています。

土地改良区の施設を継続的に支援すること、施設の維持管理の効率化、安定化につなげていきたいと考えています。



工事を行った揚水機場の操作盤・受電盤

= 議会を傍聴してみませんか =

5月・6月の議会開催日程（予定）

- 5月23日（金） 議会運営委員会
- 6月2日（月） 第3回臨時会本会議
- 6月4日（水） 議会運営委員会
常任委員長会議
- 6月16日（月） 第4回定例会本会議（開会・議案上程）
- 6月17日（火） 本会議（一般質問）
- 6月18日（水） 本会議（一般質問）
- 6月19日（木） 本会議（議案審議・委員会付託）
- 6月20日（金） 福祉文教委員会
- 6月23日（月） 建設経済委員会
- 6月24日（火） 総務委員会
- 6月26日（木） 議会運営委員会
広報広聴委員会
- 6月30日（月） 本会議（委員長報告・討論・採決・閉会）
全員協議会

※ 各常任委員会の開催日程は、6月4日頃に決定します。

時間は、いずれも午前9時30分からを予定していますが、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

また、手話通訳または要約筆記を希望される方は、事前に事務局までお申し込みください。

なお、市役所庁舎1階ロビーにおいて、本会議の様子をモニターでライブ中継します。

広報広聴委員会については、7月に2回の開催を予定しています。

（詳しくは、知多市ホームページ内の市議会のページをご覧ください。）

電 話 0562-36-2685（直通） FAX 0562-33-8299

議会だよりの表紙写真等を募集！

議会だよりの表紙に使用する写真や絵画、イラストの公募を行っています。

「#ちた市議会だより表紙応募」を付け、Instagramに投稿しよう！

市内の風景や人物、動植物、イベントなどの写真、または自ら描いた絵画・イラストをInstagramに投稿してください。その際、次のことを記載してください。

- ① 作品のテーマ
- ② 撮影場所
- ③ 掲載を希望する号（春夏秋冬のいずれか）※なくても可
- ④ ハッシュタグ「#ちた市議会だより表紙応募」

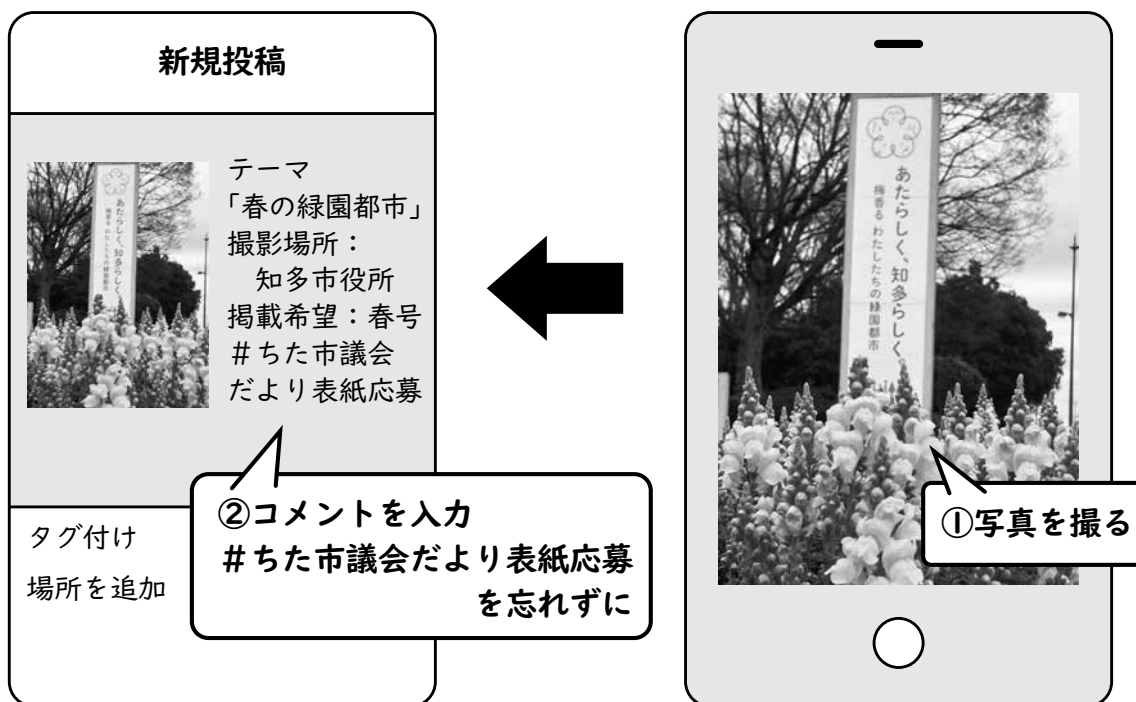


問合せ 議会事務局 議事課

その他 御応募はメール、持参などでも受け付けています。

詳しくは、右のQRコードを読み取り、募集要項を御確認ください。

～ Instagram ～



広報広聴委員会

先進地視察報告

広報広聴委員会が他市議会の先進的な取組状況を視察し、その報告がされました。

視察日 1月23日

視察先・視察内容

◆三重県伊賀市

「タウンミーティングについて」

伊賀市議会では、住民自治協議会を対象に議会報告会を行っていたが、平成30年度からは、より広く市民から意見を聴取できるタウンミーティングを実施している。タウンミーティングでは、少人数のグループワークで参加者が必ず意見を言う機会があるなど、市民が主体的に参加することができ、また、若い世代や女性の参加者も多く、幅広い意見を聞くことができたとのことであった。

また、令和3年度、4年度は地域意見交換会を試行的に行ったが、5年度、6年度はタウンミーティングに戻している。議会報告会や地域意見交換会では、要望が多く、市の御用聞きとなっているなどの課題があったが、タウンミーティングに変更してからは改善された様子であった。柔軟に実施方法を見直し、市民の求める形を模索し続けている点は参考になった。

「議会出前講座について」

伊賀市議会では、市民からの要請に応じ、議会出前講座を行っている。内容としては、テーマに応じた委員会が市民のもとへ出向き、特定の議案の審議経過や視察の報告、意見交換を行うというものである。年に2回から6回程度開催されており、そこで得た意見が提言書などに反映された事例もある。今後、本市議会においても市民との意見交換の場を充実させるうえで参考になった。



伊賀市での視察の様子

◆滋賀県栗東市

「夏休み親子議会見学ツアーについて」

栗東市議会では、議会を市民に身近に感じてもらおうことを目的に、議員と一緒に議会施設を親子で探検する夏休み親子議会見学ツアーを令和6年8月に開催し、21組の親子の参加があった。小学生向けに配慮され、興味を引く工夫がなされていた。具体的には、普段は入れない議会施設の見学、

議会の仕組みの説明のほか、議会ノート配布し、各箇所出題されるクイズに答えるなどして完成させると夏休みの自由研究として提出できるようにした。学校へ負担をかけることなく実施できることも利点であり、議会を身近に感じてもらう上で有効な取組であると感じた。

「議会報告会について」

栗東市議会では、令和5年度の議会報告会のターゲットを、議会に接することが少ない子育て世代に絞り、意見交換を重視して実施した。意見交換においては、ミーティング補助ツール「SOUNDカード」を採用し、参加者全員が発言しやすい環境を整えるほか、飲料や菓子の用意などにより和やかな雰囲気をつくっていた。市民との意見交換の場をさらに有意義なものにしていく上で、参考になった。

視察先自治体メモ

・三重県伊賀市 人口約8万5,000人

伊賀市は三重県の北西部に位置しており、北は滋賀県、西は京都府、奈良県と接している。京都、奈良と伊勢を結ぶ街道を有し、古来より都に隣接する地域として栄えてきた。京・大和文化の影響を強く受けながらも独自の文化を醸成し、俳聖松尾芭蕉のふるさとや伊賀流忍者発祥の地として知られており、歴史文化の薫る地域となっている。

・滋賀県栗東市 人口約7万人

滋賀県の湖南地域の中ほどに位置し、市の北部は平坦地、南部は緑豊かな山地となっている。古くから東海道、中山道の分岐点として栄え、国道1号・8号線、名神高速道路栗東インターチェンジがあるなど交通の要衝として利便性の高い住宅地域と有数の工業、流通業務地域を形成している。また、全国で2か所しかないJRAのトレーニングセンターがあり、馬のまちとして知られている。



栗東市での視察の様子

